



暗夜夕夕カム漫画

【低温火傷】

全 36 P

adult-only

低
温
火
傷



聞いたか？

この女
暗夜軍の大将かも
しれないってさ

まさか

普通は一人で
来ないだろ

まっ
どつちでもいいや
あとで薬…

あつ

ご苦労さま

タ、タクミ様！

……はん

なるほどね

ホントに一人で
来たんだ



バカな女



…牢に入れて
鍵をかける

どうするかは
明日決める

ザー…

目覚めたら
僕に知らせてくれ

はっ！

…カムイ…

こんな時間に
どこへ行くの？

……

…ごめんなさい

ど…

どうしても

白夜の第二王子と…
話がしたくて

ダメよ…
彼が言うことを
聞くとはい
思えないわ

でも…
これ以上の
犠牲はもう…

彼と幾度も
衝突したせいで

たくさん命を
失ってしまいました

…私を殺した
がっているのは
分かっています

ごめんなさい、
カミラ姉さん

…貴方が
白夜の王子を
気にかけてるのを
知っていたけど…

ほんとうは
私

…はい、彼も
少しの間ですが
一緒に暮らした
大事なきょうだいの
一人なのです…

：わかったわ
だけど一つ
約束して

絶対に生きて
帰るのよ



なにかを
刺された
みたい……

太もも……

ズキッ
う……
グキーン

タクミ様
危険です！

平気だよ

僕を殺す目的なら
一人で来ないだろ

……!!

そいつは
武器を……

それに武器と鎧を
ヒナタ達に
預けてある

タ……

僕の名前を
気安く呼ぶな

一人でのこのこと…
敵の城に
来るなんて

言ったよねえ
殺すって

僕たちのこと
捨てたくせに…

…あなたに…
直接お話がしたくて

…会いにきました

!!
いっ

……

ここまで
犠牲を増やして
おいて今さら
何の話？

あんたと
話すこと
なんてない

残念だけど明日の朝
処刑するよ

…二人きりじゃないと
話せない事なんです

は…

すみません…!!

聞いて下さった後に
どうして下さっても
かまいません

私達がシラサギ城に
向かっているのは
理由があるんです

………
もういいよ

やっぱり
聞くだけ
ムダだったね

おい
牢に鍵を
かけておけ

目を離すな

はっ!

きょうだいを誑かし
母上までも
…カムイばかり

僕だって
認めてもらえるよう
ずっと
努力してきたのに

全部お前がいるせいだ

久しぶりに
帰ってきたと
思ってたなら

皆の愛情を
さらっていった

母上も
カムイの話ばかり
するようになった

そして

…自分の身を
犠牲にしてまで

カムイを
守った

ずっとそばにいた僕より フラッと帰ってきたやつを

ズキ…

その喪失感が
お前に分かるか

もう僕は あとが無いんだよ

二度もあなた暗夜に負けた

カムイを殺せば…
暗夜は一時的に
戦意を失うはずだ

仕組まれてようが
かまうもんか

殺してやる
僕の手で

タクミ様…よろしいですか？

コン
コン



あの…
先ほど見廻りを
していたのですが

牢が開いていて
中に警備の者が…



すみません…
お休みでしたか

かまわないよ
仮眠したただけだ



何かあった!?

がばっ

……!



いえ
暗夜の者に
薬を盛った
ようです

どうやら
カム…

はあ

…その…
場所を移された方が
よろしいのではと



ヒマそうだな
お前たち



あいつら…!

恥を知れ!



…はい…
ありがとうございます
ございます

は？

でもこれで…
タクミさんに伝え

何で
よけないの？

あんた
僕より
強いんだから

これくらい反撃
出来るだろ

…それは
貴方から…

…不服かも
知れませんが—

殺気を
感じなかったから
…です

はあ？
馬鹿にしてるの？

今は：
殺す気はなかった
でしょう？

でなければ
利き腕で
刺すはずで

.....

貴方は
きつと私を使って
暗夜の者
おとしめたい

そして
利用出来なく
なったら
私を殺すんです

へえ

.....
あんたは
そ・う・い・う・の・を
望んでるのか

僕を
あおったこと...
後悔させてやる

いいよ

ただ
雑になるけどね
した事無いっ

.....?

.....!

びく...

痛...

あ.....っ!!

.....!!

じゅるるるる

びく

は…

姉さんのくせに
いいアイデアだね

種付けして
やったら
奴ら怒り狂うん
だらうなあ

おいでよ
カムイ

……!

ほんととは
その薬のせいで

したくて
仕方ないんじゃない？

…タクミさん…!!
もう少し自分のこと
大切になさって
下さい…!!

姉さんと呼んだ
相手としようと
するなんて…

そんなのダメです
…そんなの

狂ってるって
言いたいのか？

僕は
知ってるんだよ

僕は

とつくに
狂ってるよ
あんたのせいでね!

あんたが暗夜を選んで
白夜王国を
捨てたときから!

あんたがこの言葉に弱いってことを

そうそう…
いいよカムイ

っ…

じゅぽっ…

上手いね…

ん…

ホントに
初めてなの？

…あの従者とは
何もなかったわけ？

ぽはっ…

…っ
ジョーカー
さんとは
何もありません！

彼は忠実な…

啜えててよ

連続で
してくれないと
気持ちよく
ないんだからさ

…それにしても

こんな簡単に
僕のを…

…

は…っ

罪の意識で
こんなに従順に
なれるのか？

ほたっ…

はっ

…っはあ…
いいよ

カムイもっと
喉の奥まで入れてよ

んっ…く…

ふあ…

んん

ほちゅん…
ほちゅん

ほちゅん

ぽっ…

ふあ

は…

じゅぽっ…

んっ…



…っ!
まずい
出る…っ

んうっ

あっ…!
カムイっつ

ほら
出すよ!!

ん…っ

っ…

ふ…

っ…

んっ…
く…

はっ



は…?

はっ

…

はっ

はっ

あんた…
弟の精液…

飲んだのかよ

はっ

う…っ

けほ…

はっ

はあ…
むかつくな

飲めば僕が
喜ぶとでも
思ってるのかよ…!

はあっ

たぶっ

レレレ

あんっ…

はっ

たぶっ

キヤッ

はっ

んうっ…

…ねえ
カムイ

あんな事されたら
我慢できる
わけがない

あ、ああっ

待っ

レレレ

はあ

僕が
下を舐めてやるよ

や…っ

あああっ!

はっ

ろっ

ぬちや…

はあ…

ろっ



あっ、あんっ
いけません…!!
タクミさんっ!!

は…っ…

びちゃ

はっ

ひ…あっ

びちゃ

はあっ…
これが
カムイの…

は…っ…



はっ

僕の舌が
そんなに
気持ちいい…?

なんだよもう…
中もぬるぬるだよ

びちゃ…

はあっ…



いったこと
ないんだ…?

ふうん

ちゅ

はっ



はあ

はあっ

だ、だめ…

ちゅ

はっ

はっ

身体が熱いです…

なんか
おかしくなりそう
です…っつ

は…っ



ほら
イキそうでしょ
手伝ってあげるね

姉さん!!

ちゅ

ちゅ

ちゅ

やあああっ…



あっ、あっ...

はーっ

はっ

はっ

はーっ



ああっ

だめっ...

あああーっ!!

ひん

ひん

はああんっ



泣いちゃったの？

はっ

ひん

気持ちよすぎて
びっくりした？

かわいい...



はっ

僕.....

なんて
言ったんだ
今

そんなこと思うわけない

タクミさん

好きです…

そんなこと
望むわけない…!!

僕はこのつを
殺して
白夜王国を救うんだ…

ズキン…

……?

タクミさん

はぁっ

はっ

…誰の為に…?

あんただけは絶対に

殺すんだって決めていたんだ

今までできてきたことは
何だったんだ

ん...
ひくっ

は...

ひくっ

ちゅっ

ん...
ふ...

僕はカムイを
手に入れたかった
だけなのか

こんなに
僕にかまうなら...

この女の前では
僕の大義なんて

僕だけを見てよ!

こんなにも無意味だ

あ、あつ...!!

そ...そんな
早く
動かさないで...

んっ

はあ...っ

カムイツ...

ちゅっ

ちゅ!

ちゅっ

ギゅっ

ひくっ

っ…

はあっ…

ぬるぬるして
気持ちいい
…!!

「ちゅっ」

「ちゅっ」

「ちゅっ」

「ちゅっ」

僕のこと
受け入れてくれて
くれてるんだね

あんっ

「ちゅっ」

姉さんは…っ

僕とセックスしに
きたの？
こんな危険を
犯してまでさ…!!

はーっ

「ちゅっ」



あっ
いやあ

ち、違っ

「ちゅっ」

んんっ

あっ…ああ

だ、だめ

はーっ

タクミさん…っ
そんな激しく…っ

「ちゅっ」

あっ、また…っ
また来ちゃうっ!!

いやあっ!!

「ちゅっ」

「ちゅっ」

「ちゅっ」

「ちゅっ」

「ちゅっ」

「ちゅっ」

はあ

ああ…っ

「ちゅっ」

姉さん!!

「ちゅっ」

「ちゅっ」

「ちゅっ」





…っっ!

あっ、あっ!
タクミさ…んっ…!

姉さんっ…!

僕も出すよ!!

びゅん
びゅん

びゅん

…っ!

びゅん
びゅん



びゅん
びゅん

はあっ…
はあっ

びゅん

びゅん
びゅん

…くっ…

びゅん



はあ…

…なんで
来たんだ…

こんな感情を
知ってしまったら

は…

んっ…

はあっ

もう僕はあんたに
何もできない

たくさんの白夜兵を失ってしまった…

僕は軍将なのに

あんたを殺すことをずっと考えていたのに

どうしてこんな状況になつて…

僕を惑わすんだ

……

タクミさん…

タクミさん…私をシラサギ城に連れて行って下さい

…臣下には話さなきゃいけないけど

…大丈夫です

ガロン王に気付かれないようにして下されば

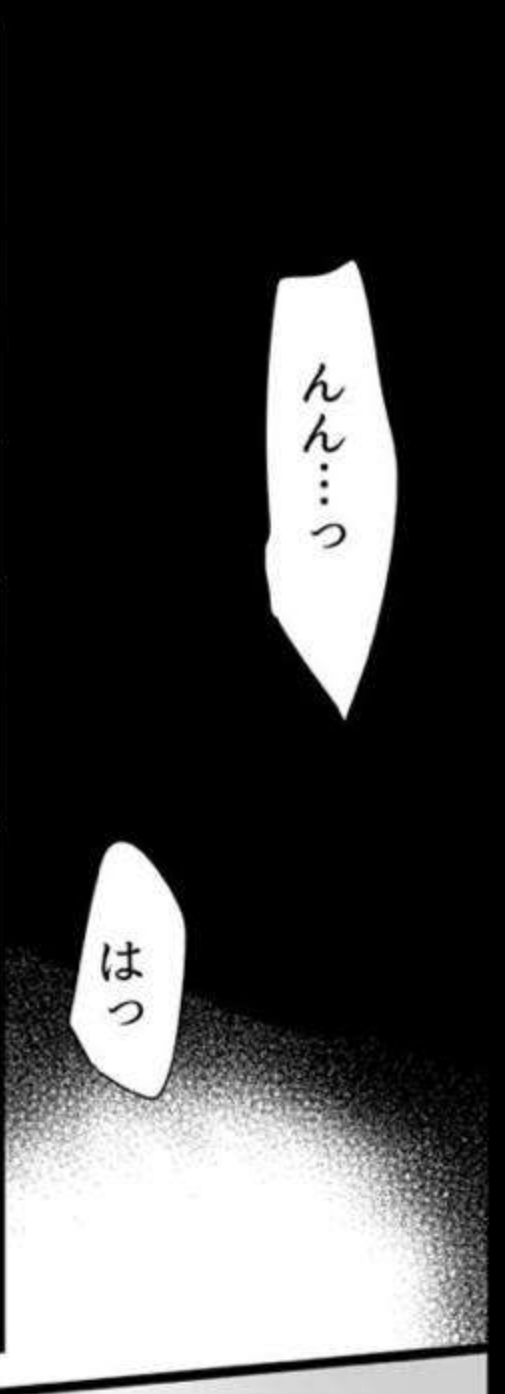
戦争を終わらせましょう

リョウマ兄さんに話さなければならぬことがあります

…暗夜のガロン王についてです

私ずっと……

あなたを救いたかったんです



はあっ
カムイ……!

これ
気持ちいいの!?

僕の精液
なか
何度でも膣内
に
だしてあげる!

しよんっ

しよんっ

はあっ

はあっ

しよんっ

しよんっ

しよんっ

はあっ

ひあっ

はあっ

はあっ

はあっ

はあっ

姉さんは

僕のものだよ……!

あっ……

はあっ

はあっ

はあっ

はあっ

はあっ

はあっ

はあっ

はあっ

はあっ

はあっ

はあっ

…っ出るっ！
好きだよ
姉さんっ！！

ド
ク
ツ

ふあっ
あああっ

はあっ…

はーっ

はーっ

はっ

はっ

はっ…

ん…

びっ

はっ…

はっ…

はっ…

はっ…

子子子…

カムイ
お姉ちゃんっ！

すみません
お二人共……

ああっ……もう
カムイ!!

心配して
眠れなかった
のよ……!

……?
あらカムイ……

あなた……
女になったわね?

……
!?!?

あら……
どうしましょう

タクミ王子を
殺さなくては
いけなくなったわ……

カミラ
お姉ちゃん

女になったって
どういう意味?

カ:カミラ姉さん
落ち着いてください……

なんで
分かるん
だろう

相手も……

ガロン王を
おびき寄せるには
まだ私達が弱いということ

後日

シラサギ城に戻った
タクミさんのおかげで

リョウマ兄さんに
会うことができた

ガロン王の側近が私達が
結託してるんじゃないかと
疑っていること

私達は
表向きは
戦争をしている
ふりをしながら

ひそかに
機会を待つと
いうことにな
った

長い道のりに
なるかもしれない

でもそこに
平和への道が
繋がっていると
信じている

…あなたは

全ての感情を
さらけ出して

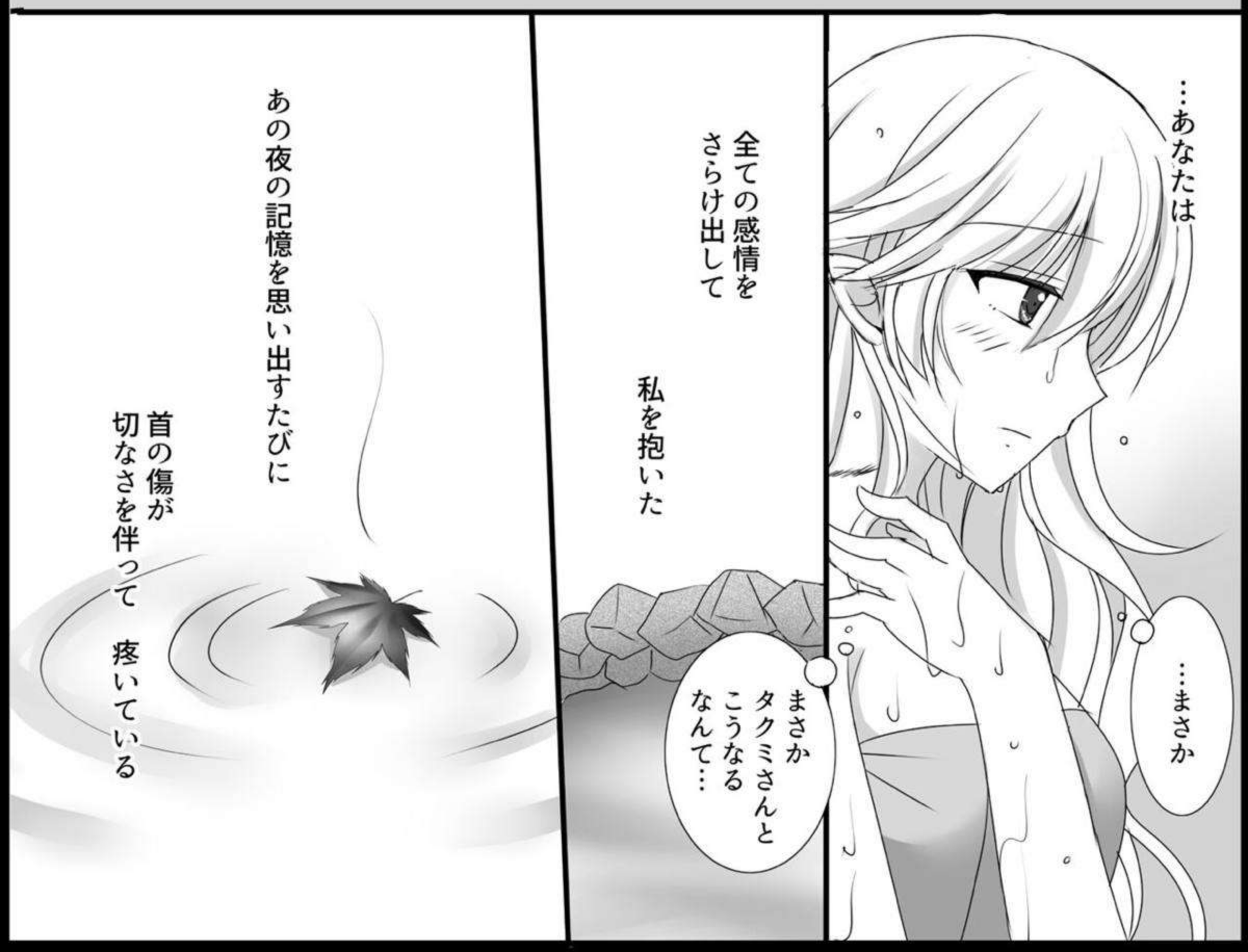
私を抱いた

…まさか

まさか
タクミさんと
こうなる
なんて…

あの夜の記憶を思い出すたびに

首の傷が
切なさを伴って
疼いている





…だって…

ここが痛むと…
貴方と繋がっていると
思えるから

あまり
会えませんし…

かきこも



ふうん…
へんな姉さん

じゃあ
いつでも
吸ってあげる



カムイ
分かってるの？

吸うと傷が開くし
いつまでも治らないよ

まるで 低温火傷をしたみたい

カ、カムイ

.....

どうして
舌を入れて
くるの

あつ...

あの

すみません
久しぶりに
逢えたので...

ほとっ

疑似戦で
会ってるじゃん...

なんだよ
もう...
可愛いなあ

かあ

...あの...私の
部屋に行きませんか

...ここでしたいな

ん...

いけないこと
してる気がするから

...もう
タクミさんは

悪い人ですね

ぷるん...

...姉さんもね...

ん...♡

ハア...

低温火傷



ごあいさつが最後のページになってしまいすみません(笑)
大好きな暗夜編タクカム本を出せて嬉しいです。
まあ暗夜タクカムえっちが描きたかったのです。(はっきり言ったね笑)
何度もカムイに挑みに来る？タクミに対して「いっそもうしちやえよ…」
と思わない人がどこにいますか…(語弊)
タクミの追い詰められ度といい、精神状態といい、私はそのチャンスがこの
スサノオ長城の直前だと思いました。

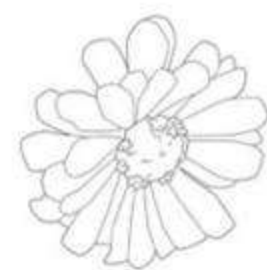
カムイは全然タクミのことを意識してないわけではなく、「18章黒白の王子」
で、お酒に弱いタクミが酔って、物陰でカムイとちょっとした言い争いになり、
キスをしてしまった…というエピソードも入れたかったのですがページ上描けませ
んでした…(笑) でもまあそんなことカミラさんに言えないよねえ…フフ(笑)

あ、あとカムイのタイツなんですが、たぶん股間部分が開いているタイツ
なのかなと認識しているんですが、ちょっとやぼったくってしまったので、
でも脱がせたくないの、ニーソを履いてもらいました。

漫画の結末はちょっと悩みました…！
きっとこんなふうには行かないとは思いますが、暗夜でのカムイの行動
を変えることが出来たらチャンスはあったんじゃないかと。
幾度かのループを繰り返した後に、こんな暗夜ifもあるといいな。

読んで下さってありがとうございました！

桐島りおな拝



誌名・低温火傷(ファイアーエムブレムif)
発行日・2020.11.29
発行・Platinum Fish 桐島りおな
連絡先・riona@angel.interq.or.jp
印刷・ねこのしっぽ様



低温
火傷

TAKUMIX KAMUI

FIRE EMBLEM if 暗夜編

Platinum Fish / Riona Kirishima / 2020